

「村上華岳（かがく）先生宅址」の碑 花隈町



日本画家の村上華岳（1888～1939）は、大阪市に生まれ、1895（明治28）年に花隈に移り、幼少期を神戸小学校（現・こうべ小学校）で学んだ。京都市立美術工芸学校に進み、日本画家として世に出、「観世音菩薩半立像」など仏画で知られる。

村上画伯の旧宅の場所に、1966（昭和41）年3月に建てられた金井元彦兵庫県知事（当時）筆の「村上華岳先生宅址」の碑があったが、現在は諏訪山町に移設されている。

場所：神戸市中央区諏訪山町6

（もともとの旧宅場所は神戸市中央区花隈町29番地）